

活動記録

- 第1章 民生委員と活動記録
- 第2章 記入の手順
- 第3章 各項目の具体的な記入方法
 - 第1節 相談・支援活動
 - 第2節 その他の活動件数
 - 第3節 訪問回数
 - 第4節 連絡調整回数
 - 第5節 活動日数
- 第4章 活動記録記入例

第1章 民生委員と活動記録

民生委員は、地域内での相談・支援活動や各関係機関等との連携をはじめ、様々な役割を担っています。近年は、特に多くの地域福祉課題に対応するために民生委員の職務の広がりが見られます。

「活動記録」とは、そうした日々の活動を記録し、自らの活動を整理・点検することで理解を深め、課題や解決策を探りながら次の活動へと役立てていくためのものです。

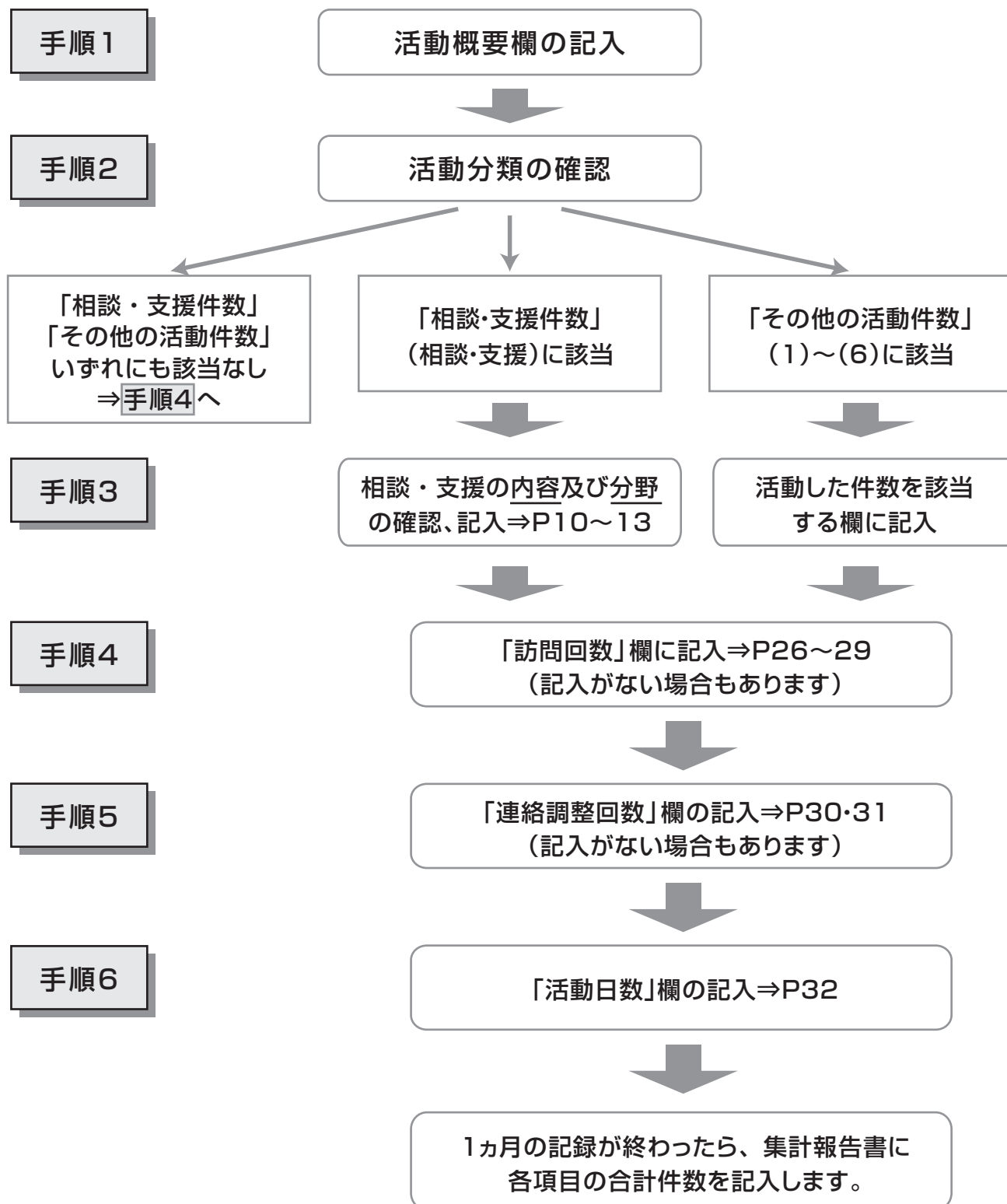
また、民生委員各人が記載した活動記録は、地区ごとに集計・分析し、地域住民が抱える課題の傾向や特徴を見出していくことができます。さらに、定例会等の場で報告や協議することにより、委員同士の共通認識を図り、組織力の高まりにもつなげていくことができます。

この活動記録の様式は、全国23万人の民生委員が同じ様式を使い、日々の活動を記入しています。同じ項目で整理することにより、全国的な集計ができ、民生委員制度の動向を検証し制度の方策へとつながる大切な基礎データとなります。また、これらのデータは民生委員制度だけではなく、市町村や県で福祉施策の計画・実施する時にも活用されています。

活動記録の集計結果は、厚生労働省の統計資料「福祉行政報告例」や県民児協のHPで公表されていますので、民生委員活動にご活用ください。

このように、さまざまな活用ができる「活動記録」ですが、記載内容の誤りや提出の遅れがあると、記録としての意義や信憑性を欠く結果になりますので、日々の記録を活動の中に活かしながら、日頃の活動の記入と毎月の提出を心がけてください。

第2章 記入の手順



手順1

その日に行った民生委員活動を振り返りましょう。次に、活動記録左頁の活動日（曜日）と活動概要にその内容を簡潔に記入します。

手順2・3

活動の内容が下記ア・イ・ウのうち、該当するものに記入します。

ア.「相談・支援件数」に番号を記入(P10～13参照)

⇒「内容(1)～(14)」と「分野(16)～(19)」の区分それぞれに、該当する番号を記入します。

イ.「その他の活動件数」に件数を記入(P14～25参照)

⇒「調査・実態把握(1)」～「要保護児童の発見の通告・仲介(6)」のうち、該当する区分に件数を記入します。

ウ.上記以外の活動

⇒上記ア・イに該当しない場合は、手順4に進みます。

手順4～6

(P26～31参照のうえ)「訪問回数(7)・(8)」と「連絡調整回数(9)・(10)」に延件数を記入します。最後に、「活動日数(11)」に○を付けます。

➡ 活動記録の集計

活動記録右頁「活動件数集計報告書」には、その月に行った各区分の活動件数の合計を記入します。記入後は、「活動件数集計報告書」の部分だけ切り取り、地区民児協会長（あるいは集計係）に渡しましょう。なお、個人の記録として残すために、活動記録巻末にある「年間集計表」に転記してください。

➡ 記入上の留意点

- ① 活動記録には、その日に行った活動を簡潔に記入し、噂や伝聞、その他個人に関する情報等については、記入しないようにしましょう。
- ② 記録は、活動を行った日に記入するようにしましょう。特に、「訪問回数(7)・(8)」や「連絡調整回数(9)・(10)」に記入する電話やFAX、電子メール、各種通知等の送受信、訪問や来訪の件数については、日が経つと正確な記入が難しくなります。できる限り、活動を行った日に記入するように習慣づけましょう。
- ③ どこに該当するのか判断が難しい場合は、他の委員または民児協会長等の意見を聞いて記入するようにしましょう。
- ④ 一斉改選等により民生委員を退任する場合、活動記録は原則後任者へと引き継ぎましょう。

第③章 各項目の具体的な記入方法

第1節

相談・支援件数

内容別相談・支援件数(1)～(15)



活動記録記入例(P34～39)
No.5・8・10・17・20・21・30・
37・42・50

住民または関係者と具体的な内容について、「①相談」や「②話し合い」、あるいは「③直接的な支援」を行った場合に、その延べ件数を記入します。

また、住民に対し、助言や情報提供、あるいは問題が解決「した・しない」に関わらず、「相談・支援件数」には記入します。そのため、「相手の話を聞いただけ」という傾聴についても、活動記録に記入することになります。

ただし、「〇〇について相談がある」と連絡を受けた場合でも、具体的にどのような相談内容か判別できた場合には、ここに番号を記入しますが、判別できない場合は、記入方法が異なります。(P28・29「こんな時どうする?」参照)

- ①相談（情報提供・サービスの利用支援・傾聴・助言）
- ②話し合い（他団体・機関とのケース会議・協議・相談等）
- ③直接的な支援（病院の付添い等）

分野別相談・支援件数(16)～(20)



活動記録記入例(P34～39)
No.5・8・10・17・20・21・30・
37・42・50

相談・支援活動の対象者となる、または必要とする人に応じて、「高齢者(16)」、「障害者(17)」、「子ども(18)(障害児を含む)」のうち、いずれかの番号を記入します。

「その他(19)」には、(16)～(18)以外の対象者への相談・支援件数を計上します。

➡ 相談・支援件数の数え方

1日のうち、複数の相談・支援活動を行った場合、「相談・支援件数」欄には各相談・支援ごとに該当する区分の番号を記入し、「活動件数集計報告書」にはその延件数を記入します。この時、「内容別相談・支援件数／計（15）」と、「分野別相談・支援件数／計（20）」は、同数となります。

なお、住民への支援について、関係者と話し合った場合には「内容・分野別相談支援件数」に該当する番号を記入しますが、委員同士で相談・アドバイスをを行った場合はここに記入せず、「委員相互（9）」のみに件数を記入します。

また、定例会等において、住民への支援方法等について事例検討を行った場合も、「民児協運営・研修（4）」のみに記入します。

※「内容別相談・支援件数」と「分野別相談・支援件数」については、本冊子P12・13【相談・支援件数区分 分類表】または、P34～39【第4章 活動記録記入例】、活動記録「分類表2」の具体例から判断して記入してください。

相談・支援件数区分 分類表

(※下記一覧は、活動記録「分類表2」と同内容です)

区 分		例 示
内 容 別 相 談 ・ 支 援 件 数	在宅福祉 (1)	(介護保険に関するものを除く) ① 介護・介助に関する相談 ② 各種在宅福祉サービス(障害(児)者に対する各種サービス、食事サービス、入浴サービス、移送サービス等)の利用 ③ 日常生活自立支援事業の利用 ④ 社会福祉施設への入所等についての相談 ⑤ 補装具、日常生活用具の給付・貸与 ⑥ 住宅改造 ⑦ 身体障害者手帳や療育手帳の交付 ※ 障害者の日常生活等を支援する法律に関するものは、この区分に計上 等
	介護保険 (2)	① 介護保険のサービス(居住・施設・介護予防・地域支援事業等) ② 要介護認定 ③ 保険料 ④ 利用料 等
	健康・保健医療 (3)	(介護保険及び母子保健に関するものを除く) ① 心身上の疾病・障害の予防及び治療 ② 医療費 ③ 精神保健 ④ 生活習慣病予防 ⑤ リハビリテーション ⑥ 健康増進(健康・食生活相談、健康教育) ⑦ 健康保険 ⑧ 国民健康保険 ⑨ 高齢者医療制度 等
	子育て・母子保健 (4)	① 育児支援のための認定こども園や幼稚園、保育所、福祉サービス等の利用 ② 児童虐待、児童養護等子育ての問題 ③ 妊娠や出産等母子保健 等
	子どもの地域生活 (5)	① 子ども会や自治会行事への参加 ② 遊び場や通学通園路の問題 等
	子どもの教育・ 学校生活 (6)	① 学校教育や進学の問題等子どもの教育 ② 不登校やいじめの問題等学校生活 等
	生活費 (7)	① 生活保護の申請・受給 ② 生活困窮者自立支援制度の利用 ③ 生活に必要な経費・貸付金・借入金(消費者金融、クレジットローン、税金等) ④ 生活援助資金 (生活福祉資金、母子・寡婦福祉資金、日本学生支援機構の奨学金、 高齢者住宅整備資金、障害者住宅整備資金等) ⑤ 悪質な訪問販売 等

区 分		例 示
内 容 別 相 談 ・ 支 援 件 数	年金・保険 (8)	(健康保険、国民健康保険に関するものを除く) ① 厚生年金保険 ② 国民年金 ③ 労災保険 ④ 雇用保険 ⑤ 自動車損害賠償責任保険 ⑥ 児童、障害者、高齢者等の各種福祉手当 等
	仕 事 (9)	① 就職 ② 雇用 ③ 失業 ④ 出稼ぎ ⑤ 職業指導 ⑥ 職業能力の開発 ⑦ 内職 ⑧ 仕事に関する資金の借入や機器購入 等
	家族関係 (10)	① 結婚 ② 離婚 ③ 親子関係 ④ 扶養 ⑤ 相続 ⑥ 家庭不和 ⑦ 行方不明 ⑧ 近隣関係 等
	住 居 (11)	① 入居 ② 立退き ③ 借地 ④ 借家 ⑤ 家賃 ⑥ 家屋の補修 ⑦ 土地の売買 ⑧ 境界線 等
	生活環境 (12)	① 危険箇所 ② 公害 ③ 環境衛生等の環境問題への苦情 等
	日常的な支援 (13)	(1)～(12)のいずれにも該当せず、代替手段がない等によりやむを得ず 行った下記①～④等の軽易な日常生活に関する相談・支援。 ① 通院の付添 ② 買い物の代行 ③ ゴミ出し ④ 除雪灰 等
	その他 (14)	(1)～(13)のいずれにも該当しない内容について相談・支援。

分 野 別 相 談 ・ 支 援 件 数	高齢者に関すること (16)	<p>①「相談・支援の対象となる人(=支援を必要としている人)」の属性で分類する。「相談者の属性」を分類するのではないことに注意する。</p> <p>②2つ以上の分野に該当する場合は、相談内容がいずれに起因しているかによって特定する。</p>
	障害者に関すること (17)	
	子どもに関すること (18)	
	その他 (19)	

その他の活動件数

調査・実態把握(1)

P34~39
No.1~4・6・40・53

状況報告（旧：証明事務）を除く、あらゆる調査・実態把握の活動件数を記入します。その際、実際に調査・実態把握を行った件数を記入します。（拒否は含み、留守は含まない）

- ①世帯（対象者）支援に必要な個別の情報収集や状況把握
- ②民児協の独自調査・アンケート
- ③行政や社協等の他団体・機関から依頼された調査



具体的な活動事例

1

世帯（対象者）支援に必要な個別の情報収集や状況把握

- ①訪問時の状況把握（福祉票の作成を含む）

記入例 No.1・4

2

民児協の独自調査・アンケート

- ①住民への各種（高齢者・子育て等）実態調査（アンケート）
- ②児童・高齢者・障がい者部会等による実態調査（アンケート）
- ③要援護者名簿の作成上の調査

記入例 No.2・40

3

行政や社協等の他団体・機関から依頼された調査

- ①高齢者／地域包括支援センター／ケース連絡会に関する調査
- ②生活福祉資金の貸付に関する調査
- ③児童相談所等からの依頼による状況把握
- ④準要保護児童の調査
- ⑤配食サービスの対象者調査
- ⑥歳末たすけあい見舞金の配付対象者調査
- ⑦敬老会の対象者調査

記入例 No.3・6・53

Q1

(4月2日)「民生委員・児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」の一環で、要援護者の把握調査を行うため、18世帯に調査票の記入をお願いした。

(4月10日) 18世帯のうち15世帯から回収できた。

記入方法

日・曜日	活動概要	相談・支援件数		その他の活動件数						訪問回数		連絡調整回数		活動日数
		内容	分野	実態把握・ (1)	参加・協議・事業・協力の (2)	活動・地域・福祉・活動主 (3)	運民営・児童・研修協 (4)	事確証明(調査・等務) (5)	通発要 告・見 ・仲介 の (6)	連訪 絡問 活 動・ (7)	そ の 他 (8)	委員 相互 (9)	関そ 係の 機他 関の (10)	
2 (木)				正正正下							正正正下			○
10 (金)				正正正							正正正下			○

解説

「調査・実態把握(1)」には、実際に配付・調査等を行うことができた件数を記入することになるため、4月2日は『正正正下(18件)』、10日は『正正正(15件)』と記入します。

また、「訪問回数」には、訪問・連絡先が住民の場合は「訪問回数(7)・(8)」に、民生委員や行政等の関係機関の場合は「連絡調整回数(9)・(10)」に記入することになります。

この Q1 の場合は、住民への訪問のため、「その他(8)」に配付できた・できないに関わらず、訪問した延べ件数を記入します。

注意事項

ア. 複数の対象者がいる(夫婦等)世帯への調査を行う場合、「調査・実態把握(1)」は「調査対象者の人数×調査の種類=件数」となります。ただし、この時の「その他(8)」は、ひと世帯への訪問のため、1件となります。

イ. 「調査・実態把握(1)」活動時の訪問等において、具体的な相談・支援を行った場合は、別途「内容・分野別 相談支援件数」に該当する区分の番号を記入する。(詳細は、P10~13、28・29参照のこと)

記入例 No.6



どの団体・機関が主体なのか確認し、民生委員として、他団体・機関が主体となっている行事・事業・会議に参加・協力（事前準備を含む）した場合は、この項目に記入します。

- ①他団体・機関が「主体」となっている行事・事業・会議に参加・協力した場合
- ②他団体・機関の委員・役員等に選出され、その団体・機関の委員として活動に参加・協力した場合
- ③その他



具体的な活動事例

1 他団体・機関が「主体」となっている行事・事業・会議に参加・協力した場合

- ①市町村・地区社協や行政が「主体」
サロン活動／配付活動（敬老祝金／結婚50周年祝品）
- ②学校が「主体」
（招待を受けた）学校行事への出席（入学式／卒業式／運動会）
- ③他団体・機関が「主体」
共同募金活動（赤い羽根・歳末たすけあい）

記入例 No.9・11・12・15・43・52

2 他団体・機関の委員・役員等に選出され、その団体・機関の委員として活動に参加・協力した場合

- ①市町村・地区社協
社協役員／心配ごと相談
- ②行政・学校
準要保護会議／青少年健全育成会議／市の福祉計画策定委員会／学校評議員
- ③他団体・機関
自治会の祭典

記入例 No.7・13

3 その他

関わりのある世帯の葬儀等へ列席した場合

記入例 No.14

Q₂

児童福祉週間のポスターを、3カ所の掲示板に貼った。午後からは、社協の「心配ごと相談」に参加した。

記入方法

日・曜日	活動概要	相談・支援件数		その他の活動件数						訪問回数		連絡調整回数		活動日数
		内容	分野	実調査把握・ (1)	参加・協議・協力・ (2)	活動・地域・福祉・ (3)	運営・児童・ (4)	確認・証明・ (5)	通達・見・ (6)	要保護児童の (7)	訪問・ (8)	委員・ (9)	関係・ (10)	
3 (水)					〒									○

解説

「行事・事業・会議への参加・協力(2)」には、配付件数を記入するのではなく、参加・協力した1つの事業につき1件と数えます。1日のうち、異なる複数の事業に参加・協力した場合は、その延べ事業数を記入します。

Q₂の場合、午前中には『ポスターの掲示』、午後には『心配ごと相談』に参加したので、それぞれ1件と数え、「行事・事業・会議への参加・協力(2)」には『〒(2件)』と記入します。

注意事項

ア. ポスターは、貼るだけでなく、はがす場合も件数に記入します。

イ. 「心配ごと相談」で相談された件数は、活動記録には記入しません。

ウ. 「行事・事業・会議への参加・協力(2)」活動時の訪問等において、具体的な相談・支援を行った場合は、別途「内容・分野別 相談支援件数」に該当する区分の番号を記入します。(詳細は、P10～13、28・29参照のこと)

記入例 No.13



どの団体・機関が主体なのか確認し、民児協が主体（共催・独自）の地域福祉活動に参加・協力（事前準備を含む）した場合や、民生委員として自主活動を行った場合は、この項目に記入します。

- ①民生委員または民児協が、社協等の関係機関と協働（共催）して行う地域福祉活動
- ②民児協が独自で行う地域福祉活動
- ③自主活動

➡ 具体的な活動事例

1 民生委員または民児協が、社協等の関係機関と協働（共催）して行う地域福祉活動

- ①市町村・地区社協との共催
総会／部会／研修／講演会／街頭募金／会食会／お花見会／リハビリ教室／ミニ
デイサービス／配食サービス／サロン活動／敬老会
- ②学校との共催
見守り・声かけ活動／挨拶運動／学校行事・活動
- ③他団体・機関との共催
老人クラブ／子ども会／母親クラブ活動／町会・自治会の行事・活動

記入例 No.16・18・19・23・24・25・39・41・44・52

2 民児協が独自で行う地域福祉活動

- ①高齢者支援
サロン活動／敬老会
- ②子育て支援
サロン活動／見守り・声かけ活動／挨拶運動
- ③その他地域福祉活動

記入例 No.22

3 自主活動

- ①民生委員活動に役立てるために自主参加した講習会等

記入例 No.49

Q₃

月1回、地区社協と共催する「いきいきサロン」の手伝いに行った。サロン終了後、次回の敬老会の案内文を対象者2名の方に配付しに行った。

記入方法

日・曜日	活動概要	相談・支援件数		その他の活動件数						訪問回数		連絡調整回数		活動日数
		内容	分野	実調査把握・ (1)	参加・協議・協力・ (2)	活動・地域・自主活動・ (3)	運営・研修協 (4)	確認・証明・調査・ (5)	通達・見介の (6)	要保護児童の (7)	訪問・連絡・ (8)	その他 (9)	委員相互 (10)	
14 (火)						丁					丁			○

「地域福祉活動・自主活動(3)」の件数の数え方は、「行事・事業・会議への参加・協力(2)」と同じです。

解説

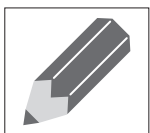
Q3の場合、「地域福祉活動・自主活動(3)」には民児協が共催する『いきいきサロンの手伝いに行った』ことで1件、サロン終了後に『敬老会の案内文を配付した』ことで1件と数え、『丁(2件)』と記入します。また、「その他(8)」には、訪問した件数『丁(2件)』を記入します。

※「行事・事業・会議への参加・協力(2)」と「地域福祉活動・自主活動(3)」の考え方の違いについては、P20参照のこと。

注意事項

- ア. 配付等の活動を行いながら、あわせて安否確認を行う場合、その訪問回数は「訪問・連絡活動(7)」ではなく、「その他(8)」に記入します。(詳細は、P28・29「こんな時どうする？」参照のこと)
- イ. 「地域福祉活動(3)」活動時の訪問等において、具体的な相談・支援を行った場合は、別途「内容・分野別 相談支援件数」に該当する区分の番号を記入します。(詳細は、P10～13・28・29参照のこと)

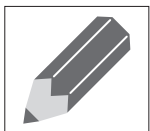
記入例 No.25



「行事・事業・会議への参加・協力(2)」と「地域福祉活動・自主活動(3)」の違いは？

「行事・事業・会議への参加・協力(2)」と「地域福祉活動・自主活動(3)」のどちらに記入してよいか迷った場合は、その活動が「どの団体が主体（主催）で行っているのか」について、確認してください。

区 分	区 分 の 目 安
「行事・事業・会議への参加・協力(2)」	民児協 以外 の他団体・機関等が主体の行事に参加・協力した場合
「地域福祉活動・自主活動(3)」	民児協が主体または、他団体と共催・協働しているものに参加・協力した場合



同じ行事でも、関わり方により記入箇所が異なる！？

1 子育て・高齢者サロンの場合

ア. 他団体・機関等が主体（社協等が主催）
⇒「行事・事業・会議への参加・協力(2)」

イ. 民児協主体（民児協単独又は社協等と共催）
⇒「地域福祉活動・自主活動(3)」

記入例 No.15・16

2 学校訪問を行った場合

ア. 学校からの呼びかけ…「行事・事業・会議への参加・協力(2)」

イ. 民児協からの呼びかけ…「地域福祉活動・自主活動(3)」

記入例 No.23



民児協の定例会や研修会等の企画・実施ほか、その事前準備（会議資料作成や打ち合わせ、物品調達等）に参加した延べ件数を記入する。

- ①民児協の定例会や研修会等の企画・実施・事前準備
- ②その他

➡ 具体的な活動事例

1 民児協の定例会や研修会等の企画・実施・事前準備

- ①定例会／部会／理事会／各種研修会／視察
- ②(市・県・全国) 民生委員大会
- ③他民児協との交流会等
- ④上記①～③の事前準備（資料作成や印刷、会議物品の調達）

記入例 No.26・27・28・29

2 その他

- ①活動記録の整理・点検
ひと月の活動件数を集計した場合や、(地区会長の場合) 地区内委員の集計作業を行った場合、この区分に件数を数えます。ただし、活動日毎に行う活動概要の記入作業は該当しません。
- ②他団体・機関主催の研修会や講習会への参加
(県や市、地区)民児協からの参加の呼びかけに応じて、研修会等に出席した場合

記入例 No.31・54

Q4

明日の研修会にかかる諸経費を用意するために銀行へ行った。
また、民児協事務局にも、スケジュール等を確認するため連絡をとった。

記入方法

日・曜日	活動概要	相談・支援件数		その他の活動件数						訪問回数		連絡調整回数			活動日数
		内容	分野	実調査把握・ (1)	参加・協議・協力の (2)	行事・事業・活動・福祉 (3)	地域・活動・主 (4)	民営・児童・研修協 (5)	証明・調査・事務 (6)	発見・仲介 (7)	要保護児童 (8)	連絡・訪問・活動 (9)	委員相互 (10)	その他の関係 (11)	
5 (月)							—						—		○

解

「民児協運営・研修(4)」も、参加した1つの会議につき1件と数えます。また、当日の参加だけではなく、その実施に向けた事前準備も件数に数えます。

Q4 の場合、次の日に行われる『研修会の諸経費を用意するために銀行へ行った』ので、「民児協運営・研修(4)」には『〃(1件)』と記入します。その後、民児協事務局に連絡をしているので、「その他の関係機関(10)」にも『〃(1件)』と記入します。

説

なお、定例会では行政等から様々な事業案内を受けることがあると思いますが、この場合もあくまで参加している事業は「定例会」となりますので、「民児協運営・研修(4)」に1件のみ数えます。また、定例会において、住民への支援について委員同士で相談・アドバイスを行った場合は、「内容・分野別 相談支援件数」には記入せず、「民児協運営・研修(4)」のみに記入します。



研修会は、参加する経緯に応じて区分が異なる！？

①民生委員活動に役立てるために、自主的に講習会・研修参加した場合
⇒「地域福祉活動・自主活動(3)」

②民児協の会議・研修・視察等に参加した場合、又は他団体主催の研修会等に呼びかけに応じて参加した場合
⇒「民児協運営・研修(4)」

記入例 No.27・28・49



いわゆる「状況報告」のことです（平成14年より「証明事務」から前記名称に変更）。本人や行政機関等から協力を求められた場合に行った、状況報告に関わる活動の延べ件数を記入します。

ここには、1つの「状況報告書」の発行に伴う「①依頼書を渡す・受け取る、②事実関係等を確認する、③書類を作成する、④『状況報告書』を発行する」等のうち、いずれかの活動を行った際に記入します。なお、「状況報告」に伴う調査・実態把握を行った場合は、「調査・実態把握（1）」には記入せず、ここに記入します。

Q5

（5月16日）午前中、Aさんから電話があり、児童扶養手当の申請をしたところ、市の児童担当課から民生委員の状況報告書を添付してほしいと言われたとのこと。午後、Aさん宅に依頼書を手渡しに行き、明日再訪する旨を伝えた。

翌日の朝、Aさん宅を訪問の上、状況を確認し、午後に状況報告書を手渡した。

記入方法

日・曜日	活動概要	相談・支援件数		その他の活動件数						訪問回数		連絡調整回数		活動日数
		内容	分野	実態調査・把握 (1)	参加・協議・協力の (2)	行事・事業・活動・地域・福祉 (3)	民営・児童・福祉 (4)	証明（調査・確認等） (5)	通告・保護児童 (6)	連絡・訪問・活動 (7)	その他 (8)	委員相互 (9)	関係の機他 (10)	
16 (木)								一			丁			○
17 (金)								一			丁			○

解

「証明（調査・確認等）事務(5)」は、1つの「状況報告書」の発行に伴う上記①～④などの活動を、1日のうちにいくつ行っても1件と考えます。ただし、1つの状況報告書の作成が複数日に渡った場合は、その日ごとに1件と考えます。また、1日のうちに異なる「状況報告書」を複数作成した場合や、同一世帯に対し複数作成した場合については、作成した「状況報告書」の数を記入します。

Q5 の場合、5月16日は『Aさんに依頼書を手渡した』ので、「証明（調査・確認等）事務(5)」には『一（1件）』と記入します。また、Aさんから電話を受け、その後訪問しているので、「その他(8)」には『丁（2件）』と記入します。

次の日、『状況を確認し、状況報告書を手渡している』ので、「証明（調査・確認等）事務(5)」に『一（1件）』と記入し、午前と午後の2度訪問しているので、「その他(8)」には『丁（2件）』と記入します。

説



委員自身が要保護児童を発見した、または発見者（住民）からの連絡を受け、児童相談所や福祉事務所、市町村担当課へ通告（報告）した件数を記入します。

➡ 要保護児童とは？

要保護児童とは、「虐待を受けている、またはそのおそれがある」、「保護者がいない」、「親の養育が不十分・不適當」、「心身に障がいをおっている」、「非行をなす、またはそのおそれがある」児童のことです。

Q6

地区内のBさんから「隣に住む3歳になる子どもの泣き声がひどい。毎日続いている」との連絡を受けたので、Bさん宅を訪問して様子を聞いた。その後、虐待の心配があるので、市町村担当課へ連絡した。

記入方法

日・曜日	活動概要	相談・支援件数		その他の活動件数						訪問回数		連絡調整回数		活動日数
		内容	分野	実態把握・調査(1)	参加・協議・事業力の(2)	行事・活動・地域・福祉・自主活動(3)	運動・児童・研修・協(4)	確認・証明・調査・等(5)	通告・発見・見聞・仲介(6)	連絡・訪問・活動・(7)	その他(8)	委員相互(9)	関係機関(10)	
25 (木)				一					丁		丁		一	○

解

「要保護児童の発見の通告・仲介(6)」には、①要保護児童を委員自身が発見した場合や発見者(住民)からの連絡を受けた場合の件数と、②児童相談所や福祉事務所、市町村担当課へ通告した件数、それぞれの延べ件数を記入します。

Q6 の場合、地区内のBさんから連絡を受けたので、まず「要保護児童の発見の通告・仲介(6)」と「その他(8)」にそれぞれ『一(1件)』と記入します。次に、『Bさん宅を訪問し隣の様子を聞いた』ので、「調査・実態把握(1)」と「その他(8)」にそれぞれ『一(1件)』と記入します。

その後、『虐待の心配があるので、市町村担当課へ連絡した』ので、「要保護児童の発見の通告・仲介(6)」と「その他の関係機関(10)」にそれぞれ1件ずつ追加します。

なお、関係機関（児童相談所や福祉事務所、市町村担当課）から、虐待等の報告のみ受けた場合は、「要保護児童の発見の通告・仲介(6)」には記入せず、「その他の関係機関(10)」のみに記入します。

説

訪問・連絡活動(7)

P34~39
No.8・36~38・47・50

見守りや声かけなどを目的とした友愛訪問・安否確認等の訪問・連絡活動のうち、実際に対象者を確認できた件数を記入します。

「あらかじめ訪問や連絡の意図がある」、「実際に相手の状態を確認した」ことが基本となり、①住民宅を直接訪問した、②住民と電話で話した、③住民宅への訪問途中で出会った場合が該当します。

Q7

近所のスーパーで買い物中、偶然ひとり暮らし高齢者Cさんに出会い、「お変わりありませんか？」と尋ねた。

記入方法

日・曜日	活動概要	相談・支援件数		その他の活動件数						訪問回数		連絡調整回数		活動日数
		内容	分野	実調査把握・ (1)	参加・協議・協力の (2)	行事・事業・活動・主社 (3)	地域・福祉 (4)	運営・研修 (5)	証明(調査・ 確認等) (6)	発見・見 通・仲介 (7)	要保護児童 の (8)	委員相互 (9)	関係の 機他の (10)	
28 (金)										—				○

解説

「訪問回数ー訪問・連絡活動(7)」には、声かけ・見守りを目的とした訪問の中で、実際に安否確認ができた件数のみ数えます。

Q7の場合、ひとり暮らし高齢者Cさんの安否確認を行っているので、『ー(1件)』と記入します。

なお、訪問したものの安否の確認ができなかった場合は、「訪問・連絡活動(7)」には件数を数えず、「活動日数」のみに○をつけます。



「訪問・連絡活動(7)」以外の訪問・連絡活動を行った延べ件数を記入します。

Q₈

(社協主催の)敬老会の案内のため、5軒訪問したが、2軒は留守だった。夜になってから、その2軒に電話をし、敬老会の案内を行った。

記入方法

日・曜日	活動概要	相談・支援件数		その他の活動件数						訪問回数		連絡調整回数		活動日数
		内容	分野	実態把握・ (1)	参加・協議・協力 (2)	行事・事業・ (3)	地域・活動・ (4)	民営・児研協 (5)	確認・証明・ (6)	発見・見介 (7)	要保護児童 (8)	連絡・訪問・ (9)	その他の (10)	
17 (水)					一							正丁		○

解説

「その他(8)」には、「訪問・連絡活動(7)」以外で行った住民への訪問・連絡活動を数えます。配付できた・できない、または留守・拒否されたに関わらず、訪問したすべての件数を記入します。また、民生委員からの活動に限らず、住民からの連絡や訪問についても件数に数えます。

Q₈ の場合、まず『(社協主催の)敬老会の案内のため、5軒に訪問』しているので、「その他(8)」に『正(5件)』と記入し、「行事・事業・会議への参加・協力(2)」にも『一(1件)』と記入します。また、夜になってあらためて留守だった2軒に電話で案内をしているので、「その他(8)」に2件追加します。

こんな時どうする？

1 偶然、外出先で出会って、安否を確認できた場合

「訪問・連絡活動(7)」に件数を記入します。「訪問・連絡活動(7)」は、「あらかじめ訪問を意図している」ことが基本となりますが、この場合はその事実に着目し、「訪問・連絡活動(7)」に件数を記入します。

記入例 No.38

2 友愛訪問や安否確認以外の目的(行事に関わる配付等)で訪問し、あわせて安否確認を行った場合

「その他(8)」に記入します。これは、「友愛訪問」や「安否確認」を目的として、訪問していないためです。例えば、「敬老祝い金を配りながら、高齢者の安否確認をした」場合は、「訪問・連絡活動(7)」ではなく、「その他(8)」に記入します。

記入例 No.25

3 訪問・連絡時に、相談があった(あると言われた) 場合

①具体的にどのような相談内容か判別できる場合

この場合、具体的な相談を受けた内容に該当する区分の番号を「内容・分野別相談・支援件数」に記入します。あわせて、その訪問・連絡目的に応じて、「訪問・連絡活動(7)」または、「その他(8)」にも件数を記入します。

②具体的にどのような相談内容か判別できない場合

この場合、「内容・分野別 相談・支援件数」には記入せず、「訪問・連絡活動(7)」または、「その他(8)」と「活動日数(11)」に記入します。

記入例 No.5・8・10・17・20・21・30・35・37・42・50

4 集合住宅へのポスティング

集合住宅への配付活動は、玄関ポストへの配付であれば、各戸につき1件ずつ数えます。ただし、集合ポストへの配付は、何件投函しても集合住宅1棟につき1件と数えます。

5 訪問・連絡時に、対象者宅が留守だった場合

- ① 声かけ等の安否確認が目的で訪問し、対象者宅が留守により安否を確認できなかった場合

この場合、「訪問・連絡活動(7)」には記入せず、「活動日数(11)」のみに○を付けます。

- ② 「その他の活動件数(1)～(6)」の活動を行うために訪問したが、対象者宅が留守だった場合

この場合、「その他(8)」には留守宅を含めたすべての訪問件数を記入します。

記入例 No.3・11・40・47・53

委員相互(9)



P34~39

No.2・10・17・23・29・34・43・51

委員相互で、連絡をした、あるいは連絡を受けた延べ件数を記入します。連絡手段については、訪問や電話、電子メール、FAX、通知等、その手段に関わらず記入します。

なお、委員同士で相談・アドバイスをを行った場合は「相談・支援件数（内容・分野）」には記入せず、「委員相互(9)」のみに記入します。

Q₉

同じ地区の民生委員から、担当地区に住む外国人母子についての相談を受けた。

記入方法

日・曜日	活動概要	相談・支援件数		その他の活動件数						訪問回数		連絡調整回数		活動日数
		内容	分野	実調査把握・ (1)	参加・協議・協力の (2)	行事・事業・活動・福祉 (3)	地域・活動・福祉 (4)	運営・研修・協 (5)	確認・証明・調査・ (6)	通告・見聞・紹介 (7)	要保護児童の (8)	委員相互 (9)	関係の (10)	
2 (火)												—		○

「連絡調整回数－委員相互(9)」には、委員同士で行った連絡件数を記入します。その連絡手段は、訪問や電話、電子メール、FAX、通知等、その手段にかかわらず記入します。

この **Q9** の場合、『委員から相談を受けた』ので、「委員相互(9)」に『—（1件）』と記入します。

なお、活動記録を地区会長に提出した際も、「委員相互(9)」に件数を記入します。また、地区会長も各委員から活動記録を受領した件数を記入することになります。

その他関係機関(10)



P34~39
 No.2・10・23・26・29・34・
 35・45・46・50

民生委員活動において関わったあらゆる関係機関と連絡をした、あるいは連絡を受けた延べ件数を記入します。連絡手段については、訪問や電話、電子メール、FAX、通知等、その手段に関わらず記入します。

なお、連絡内容が個人や世帯の支援に関する具体的な相談や話し合いを行った場合は、「内容・分野別 相談・支援件数」にも記入します。

Q10

ひとり暮らし高齢者のDさんとEさんの友愛訪問を行った。その際、Dさんから在宅福祉に関する質問を受け、その内容について役所へ問い合わせた。

記入方法

日・曜日	活動概要	相談・支援件数		その他の活動件数						訪問回数		連絡調整回数		活動日数
		内容	分野	実調査把握・(1)	参加・協議・事業・力の(2)	行事・活動・主社(3)	地域・福祉・自(4)	運民・営・児・研・修・協(5)	事確証認(調査・等・務)(6)	通発要・告・見・仲・介・の(7)	連訪・絡・問・活・動・他・(8)	委員相互(9)	関係の機他関の(10)	
4 (木)		(1)	(16)							1			—	○

「その他の関係機関(10)」には、関係機関と行った連絡件数を記入します。

Q10 の場合、友愛訪問のために2軒訪問しているので、「訪問・連絡活動(7)」に『T(2件)』と記入します。この訪問時、Dさんから『在宅福祉に関する質問を受けた』ので、「相談・支援件数」の「内容」には『在宅福祉(1)』、「分野」には『高齢者に関する(16)』と記入します。

続いて、『その内容について役所に問い合わせた』ので、「その他の関係機関(10)」に、『—(1件)』と記入します。

なお、個別の事例について、関係者と話し合った場合は、その場にいた関係者ごとに連絡調整を行ったと考えます。例えば、その関係者を学校関係者及び児童相談所とすれば、「その他の関係機関(10)」に『T(2件)』と記入し、1人の民生委員が話し合いに加わった場合は「委員相互(9)」に『—(1件)』と記入します。

解

説

活動日数(11)



P34~39

活動の実日数を計上します。1日に何回活動しても、その日の「活動日数(11)」欄には1つだけ○をつけます。そのため、その月の日数(28日~31日)を超えることはありません。

基本的な考え方

第3章の第2節「その他の活動件数」から第5節「活動日数」までの基本的な件数の数え方をまとめた一覧表です。詳細については各区分の頁をご覧ください。

その他の活動件数	調査・実態把握(1)	実際に配布・調査できた件数のみを数える。
	行事・事業・会議への参加・協力(2)	配布等の件数ではなく、参加・協力した1つの事業につき1件と数える。
	地域福祉活動・自主活動(3)	配布等の件数ではなく、参加・協力した1つの事業につき1件と数える。
	民児協運営・研修(4)	参加した1つの会議等につき、1件と数える。事前準備も件数に含む。
	証明(調査・確認等)事務(5)	状況報告に伴う何らかの活動を行った場合、1件と数える。ただし、複数日に渡った場合や複数人(世帯)に作成した場合は、その日あるいは人(世帯)ごとに数える。
訪問回数	要保護児童の発見の通告・仲介(6)	要保護児童を発見した場合や発見者からその連絡を受けた場合の件数と、市町村担当課への通告した件数の延べ件数を数える。
	訪問・連絡活動(7)	友愛訪問や安否確認等の住民への訪問・連絡活動のうち、実際に安否の確認ができた件数のみ数える。
連絡調整回数	その他(8)	「訪問・連絡活動(7)」以外の目的で行った、住民へのあらゆる訪問・連絡活動の延べ件数を数える。留守や(調査等を)拒否された場合も含む。
	委員相互(9)	委員相互で連絡をした(受けた)延べ件数を数える。電話やFAX等、その手段に関わらない。
	その他の関係機関(10)	あらゆる関係機関と連絡をした(受けた)延べ件数を数える。電話やFAX等、その手段に関わらない。
活動日数		活動した日ごとに○を付ける。

第4章 活動記録記入例

20〇〇年 〇月の活動内容 その1

(活動概要の(カッコ)内の表記は区分を明確にするために記入しています。)

No.	主な参考ページ	日・曜日	活動概要	相談・支援件数	
				内容	分野
1	14・15 26～29	1(月)	半年前に引っ越してきて、その後ひとり暮らしになった高齢者のお宅を訪問し、福祉票を作成した。		
2	14・15 30・31	2(火)	児童部会で作成したアンケートも主任児童委員と小学校に持って行き、校長先生に記入を依頼した。		
3	14・15 26～29	4(木)	市の福祉課から依頼された調査のため、高齢者宅を5軒訪ねて聞き取り調査をしたが、2軒は留守だった。同日中に、その2軒を再訪すると、1軒は調査できたが、1軒は留守のままだった。		
4	14・15 26～29	6(土)	先日、急病で入院したひとり暮らし高齢者のBさんの病状について、息子さんへ電話をして様子を伺った。		
5	10～13 26～29	〃	夕方、息子さんから電話があり、退院後の介護保険の利用などについて、相談を受けた。	2	16
6	14・15 26～29	7(日)	(高齢者福祉課から依頼された) 70歳以上の方が対象の高齢者調査と、要援護者調査のため、K夫婦(夫婦ともに調査対象)宅を訪問した。		
7	16・17	10(水)	(民生委員として役員を頼まれている) 町会の例会に出席した。		
8	10～13 26～29	〃	午後、声かけ訪問のため、Lさん宅へ立ち寄ったところ、身体に障がいをもつ息子さんの就職について相談を受けた。	9	17
9	16・17	12(金)	(民生委員として招待された) 小学校の入学式に参列した。		
10	10～13 30・31	〃	式終了後、学校を長期間休んでいるMちゃんの近況について、主任児童委員と担任の先生、スクールカウンセラーと情報交換を行った。	6	18
11	16・17 26～29	13(土)	(市から贈られる) 敬老祝品を渡すため、8軒を訪問したが、2軒は留守だった。		
12	16・17 26～29	〃	午後、(社協から依頼された) 歳末たすけあい募金に協力し、6店訪問した。		
13	16・17	16(火)	心配ごと相談所で、相談員として4件の相談に応じた。		
14	16・17	〃	夕方、2年前から声かけ訪問をしていた近所の方の葬儀に参列した。		
15	16・17 20	17(水)	(社協主催の) いぎいぎサロンに、参加・協力した。		
16	18～20	18(木)	午前中、(社協と共催の) 子育てサロンに参加した。		
17	10～13 30・31	〃	子育てサロンで、参加者の一人から保育園入所のことで相談を受け、主任児童委員にその相談内容をメールで報告した。	4	18
18	18・19	〃	午後、町会の美化活動に参加し、公園に花を植えた。		
合 計				↑	↑

区分ごとの数を数えて、右の集計表「相談・支援件数」の欄に記入します。

地区内の整理番号等を記入し、
提出・集計時に活用しましょう。

20〇〇年 〇月分

活動件数 集計報告書

民児協名: ちば第1地区民児協

氏名: 民生太郎

その他の活動件数						訪問回数		連絡調整回数		活動日数 (11)
実 調 態 査 把 握 (1)	参 会 加 議 ・ 協 力 (2)	行 事 ・ 事 業 ・ 活 動 (3)	地 域 ・ 自 福 ・ 主 社 (4)	運 営 ・ 研 修 ・ 協 務 (5)	民 児 ・ 認 証 ・ 確 認 ・ 明 確 ・ 通 告 ・ 保 護 ・ 見 守 ・ 介 護 (6)	連 訪 絡 活 問 動 ． (7)	そ の 他 (8)	委 員 相 互 (9)	関 係 の 機 関 の 関 係 (10)	
一							一			○
一								一	一	○
正							正			○
一							一			○
							一			
正							一			○
	一									○
						一				
	一									○
								一	正	
	一						正			○
	一						正			
	一									○
	一									
	一									○
		一								○
								一		
		一								
11	7	2				1	25	3	3	11

相談・支援件数	(内容別)	在宅福祉	(1)	件
		介護保険	(2)	1
		健康・保健医療	(3)	
		子育て・母子保健	(4)	1
		子どもの地域生活	(5)	
		子どもの教育・学校生活	(6)	1
		生活費	(7)	
		年金・保険	(8)	
		仕事	(9)	1
		家族関係	(10)	
		住居	(11)	
		生活環境	(12)	
		日常的な支援	(13)	
		その他	(14)	
		計	(15)	4
(分野別)	高齢者に関すること	(16)	1件	
	障害者に関すること	(17)	1	
	子どもに関すること	(18)	2	
	その他	(19)		
	計	(20)	4	

同数

※(15)と(20)の合計件数は一致

その他の活動件数	調査・実態把握	(1)	11件
	行事・事業・会議への参加・協力	(2)	7
	地域福祉活動・自主活動	(3)	2
	民児協運営・研修	(4)	
	証明(調査・確認等)事務	(5)	
	要保護児童の発見の通告・仲介	(6)	

訪問回数	訪問・連絡活動	(7)	1回
	その他	(8)	25

連絡調整回数	委員相互	(9)	3回
	その他の関係機関	(10)	3

活動日数	(11)	11日
------	------	-----

※活動日数が当月の日数を超えることはありません。

20〇〇年 △月の活動内容 その2

No.	主な参考ページ	日・曜日	活 動 概 要	相談・支援件数	
				内容	分野
19	18・19 26～29	1(月)	(社協と共催の)配食サービスで、4軒にお弁当を届け、夕方には空箱を回収しに行った。		
20	10～13	"	配食サービス利用者のSさんから、「年金に関する通知が届いたが、どうすれば良いかわからない。」と相談を受けた。	8	16
21	10～13	"	また、Yさんからはホームヘルパー利用のことについて相談を受けた。	1	16
22	18・19	3(水)	朝と夕方の2回、(民児協主体の)児童の登下校時の見守りをした。		
23	18～20 30・31	"	午後、(民児協が呼びかけている)学校訪問のため、主任児童委員と小学校を訪問し、校長先生や生活指導の先生と意見交換を行った。		
24	18・19	4(木)	(老人クラブと共催の)グラウンドゴルフ大会に参加した。		
25	18・19 26～29	"	大会終了後、地域の高齢者に(社協と共催の)敬老会の招待状を11世帯に配りながら、安否確認をした。		
26	22・23 30・31	5(金)	先日開かれた児童部会の内容を、次回の地区定例会で説明するため、資料を作成した。その折、市の子育て施策について、子育て支援課に問い合わせをした。		
27	22・23	"	午後は、県民児協主催の研修に参加した。		
28	22・23	6(土)	視察研修のため、他市の民児協へ出向き、「災害時の取り組み」について話を聞いた。		
29	22・23 30・31	7(日)	高齢者部会で施設見学も予定している特別養護老人ホームへ、部会長と伺い、施設長と担当職員とで打合せをした。		
30	10～13 26～29	10(水)	高齢者Dさんから、「生活福祉資金を借りるには、どのような手続きが必要か」と相談の電話を受けた。	7	16
31	22・23	"	(地区民児協会長であるため)地区の委員の活動記録を集計した。		
32	24 26～29	13(土)	生活福祉資金の申請をしたDさん宅を訪問し、世帯の状況を聞き取り、調査書を作成した。		
33	24 26～29	"	先日、状況報告書の作成を依頼されていたEさんにも書類を届けた。		
34	25～31	14(日)	Fさんから「隣の家のAちゃんが虐待されているようだ」という電話を受け、児童相談所と主任児童委員に連絡した。		
35	25～31	15(月)	「妻が、少しうつのような状態になっているから、日中、子どもの養育が出来ているのか心配だ。」と単身赴任の旦那さんから連絡があった。市の子育て支援課にすぐ連絡を取った。		
36	26～29	17(水)	友愛訪問のため、ひとり暮らしの高齢者宅を訪問する途中で、本人に会い、元気な様子を確認した。		
合 計				↑	↑

区分ごとの数を数えて、右の集計表「相談・支援件数」の欄に記入します。

地区内の整理番号等を記入し、
提出・集計時に活用しましょう。

20〇〇年 △月分

活動件数 集計報告書

民児協名: ちば第1地区民児協

氏名: 民生一郎

その他の活動件数						訪問回数		連絡調整回数		活動日数 (11)
実 調 態 査 把 握 (1)	参 会 加 議 ・ 協 力 の (2)	活 動 ・ 地 域 ・ 自 主 社 (3)	運 営 ・ 児 研 修 協 (4)	事 務 ・ 確 認 ・ 調 査 (5)	通 告 ・ 保 護 ・ 仲 介 の 童 (6)	連 訪 絡 活 動 ・ 問 題 (7)	そ の 他 (8)	委 員 相 互 (9)	関 係 の 機 関 の 関 係 (10)	
		－					正下			○
		－								○
		－						－	丁	
		－								○
		－					正正			
			－						－	○
			－							
			－							○
			－					－	丁	○
							－			○
			－							
				－			－			○
				－			－			
					丁		－	－	－	○
					丁		－		－	○
						－				○
		5	5	2	4	1	24	3	7	11

相談・支援件数	(内容別)	在宅福祉	(1)	1件
		介護保険	(2)	
		健康・保健医療	(3)	
		子育て・母子保健	(4)	
		子どもの地域生活	(5)	
		子どもの教育・学校生活	(6)	
		生活費	(7)	1
		年金・保険	(8)	1
		仕事	(9)	
		家族関係	(10)	
		住居	(11)	
		生活環境	(12)	
		日常的な支援	(13)	
		その他	(14)	
		計	(15)	3
	(分野別)	高齢者に関すること	(16)	3件
		障害者に関すること	(17)	
		子どもに関すること	(18)	
		その他	(19)	
		計	(20)	3

※(15)と(20)の合計件数は一致

その他の活動件数	調査・実態把握	(1)	1件
	行事・事業・会議への参加・協力	(2)	
	地域福祉活動・自主活動	(3)	5
	民児協運営・研修	(4)	5
	証明(調査・確認等)事務	(5)	2
	要保護児童の発見の通告・仲介	(6)	4

訪問回数	訪問・連絡活動	(7)	1回
	その他	(8)	24

連絡調整回数	委員相互	(9)	3回
	その他の関係機関	(10)	7

活動日数	(11)	11日
------	------	-----

※活動日数が当月の日数を超えることはありません。

20〇〇年 □月の活動内容 その3

No.	主な参考ページ	日・曜日	活 動 概 要	相談・支援件数	
				内容	分野
37	10~13 26~29	1(月)	高齢者宅3軒と、入院している高齢者1人を訪問し、何か変わったことはないか様子 を伺いに行った。高齢者Gさんから、同居している息子さんの愚痴を聞いた。	10	16
38	26~29	3(水)	外出先で、偶然ひとり暮らし高齢者Tさんと会った。「お身体の具合はどうですか？」 と声をかけ、元気な様子を確認した。		
39	18-19 26~29	5(金)	地域の高齢者に、(社協と共催の)いきいきサロンのチラシを配りながら、安否確認 をした。9世帯に配付することができた。		
40	14・15 26~29	7(日)	災害時要援護者宅4軒に、緊急連絡先を伺いに行ったが、2軒は回答を断られた。		
41	18-19 26~29	〃	近所に引っ越してきた方に、(社協と共催の)ひとり暮らし高齢者食事会の案内状 を手渡すため、訪問した。		
42	10~13 26~29	8(月)	ひとり暮らし高齢者Uさんから「ひとりでは心細いので、病院の診断結果を一緒に聞いて ほしい」と電話で頼まれたので、Uさん宅から病院まで付き添って、医師の話聞いた。	13	16
43	16-17 30-31	9(火)	(社協主催の)地域福祉フォーラムの案内も、地区の委員15人へメールで送信した。		
44	18-19	〃	11時から(社協と共催の)福祉まつりに参加した。		
45	30-31	10(水)	市民児協事務局から研修会の案内が郵送されてきた。わからないところがあった ので、事務局に電話で問い合わせた。		
46	25 30-31	13(土)	児童相談所から、「小学生Pちゃんが虐待を受けていたことがわかったので、保護 しました」という報告を電話で受けた。		
47	26~29	18(木)	友愛訪問のため、ひとり暮らし高齢者Wさんのお宅に訪問したが、留守だった。		
48	26~29	19(金)	夜、ひとり暮らし高齢者Zさんの家の電気が点いているのを外から確認した。		
49	18-19 23	20(土)	午前中、NPO法人主催の子育てセミナーに(自主的に)参加した。		
50	10~13 26~31	〃	帰宅後、ひとり暮らしのRさんYさんに安否確認のため電話をかけたがRさんは3度とも電話に出な かった(※1)。気になって訪問してみると(※2)、体調が悪そうなので、救急車を呼んで(※3)病院に同行した(※4)。	13 ※4	16
51	30-31	〃	上記の内容を会長に報告した。		
52	16~19 26~29	22(月)	(社協と共催の)食事会の案内状(※5)と、(市が発行する)バス無料券を配付する ため(※6)、15世帯を訪問した(※7)。		
53	14・15	〃	あわせて、市役所の高齢者福祉課から依頼されていた「高齢者実態調査」も行っ たが、15世帯中5世帯は留守のため、配付も調査もできなかった。		
54	22-23	23(火)	一ヵ月分の活動記録を集計した。		
合 計				↑	↑

区分ごとの数を数えて、右の集計表「相談・支援件数」の欄に記入します。

民児協名:	ちば第1地区民児協
氏名:	民生花子

相談・支援件数	(内容別)	在宅福祉	(1)	件
		介護保険	(2)	
		健康・保健医療	(3)	
		子育て・母子保健	(4)	
		子どもの地域生活	(5)	
		子どもの教育・学校生活	(6)	
		生活費	(7)	
		年金・保険	(8)	
		仕事	(9)	
		家族関係	(10)	1
		住居	(11)	
		生活環境	(12)	
	(分野別)	日常的な支援	(13)	2
		その他	(14)	
		計	(15)	3
		高齢者に関すること	(16)	3件
		障害者に関すること	(17)	
		子どもに関すること	(18)	
		その他	(19)	
		計	(20)	3

※(15)と(20)の合計件数は一致

その他の活動件数	調査・実態把握	(1)	12件
	行事・事業・会議への参加・協力	(2)	2
	地域福祉活動・自主活動	(3)	5
	民児協運営・研修	(4)	1
	証明(調査・確認等)事務	(5)	
	要保護児童の発見の通告・仲介	(6)	

訪問回数	訪問・連絡活動	(7)	7回
	その他	(8)	31

連 絡 回 数	委 員 相 互	(9)	16 回
	その他の関係機関	(10)	4

活動日数	(11)	13日
------	------	-----

39